

【平成 30 年4月】

<地域を支える仕組みづくり>

地域支え合いの仕組みづくり研修会を開催しました

平成 30 年4月18日（水曜日）午前 10 時30分から大崎市図書館多目的ホールにて「地域支え合いの仕組みづくり研修会」を開催しました。当日は、まちづくり協議会、地区公民館の指定管理者、大崎市社会福祉協議会及び行政が計61名参加し特定非営利活動法人全国コミュニティライフサポートセンター 理事長 池田昌弘 氏を講師にお招きし「なぜ支え合いの仕組みづくり？他市町村の動きは」というテーマで講話を頂きました。

その後に、民生部社会福祉課地域包括ケア推進室の職員が「大崎市における地域包括ケアシステムの取り組み」というテーマで、地域の実情に合わせた大崎市流の地域包括ケアシステムについて話題提供をしました。



地域支援コーディネーター意見交換会を開催しました

平成 30 年4月18日（水曜日）午後 1 時から大崎市図書館 2 階研修室にて「平成 30 年度第 1 回地域支援コーディネーター意見交換会」を開催しました。今回は午前中に引き続き、特定非営利活動法人全国コミュニティライフサポートセンター 理事長 池田昌弘 氏を講師にお招きし「持続可能な地域での具体的な取り組み」について講話を頂いた後に意見交換を行いました。

今年度のスタートを切るためのさまざまなアドバイスを頂き、地域での支え合いの仕組みづくりがさらに一歩前進しました。



第2回高倉地区ワークショップのまとめが行われました

平成30年4月21日（土曜日）午後7時から高倉地区公民館にて「第2回高倉地区ワークショップのまとめ」が開催されました。当日は全3回のワークショップを経て決まった7名のメンバーが参加して、ワークショップで出たさまざまな意見を地域に広めるための冊子のレイアウトや内容について話し合いました。

出された意見には、「表紙に高倉地区の住民が集まった写真を掲載して、愛着が沸く冊子にしよう。」「高倉地区にあるさまざまな団体の情報を載せよう。」等がありました。話し合いの後にはメンバーから高倉地区振興協議会に対してプレゼンテーションが行われました。



古川栄町の元子供会の方々と地域について話し合いました

平成30年4月28日（土曜日）午後7時から栄町集会所にて元子ども会の若い世代の方々6名を対象に大崎市における支え合いの仕組みづくりについて紹介後に地域について意見交換をしました。

意見交換の中で、「若者世代で地域のことについて話をする機会がないので定期的に話し合ってもいいのでは？」「さまざまな人を巻き込んで話し合いを進めていくのもいいかもしれない」等の積極的な意見が出されました。

<医療と介護の連携>

市内の訪問看護ステーションが集まって話し合いをしました

平成30年4月24日（火曜日）午後6時から大崎市医師会にて「第1回大崎市内訪問看護ステーション管理者懇談会」が開催され、市内7カ所の訪問看護ステーションの管理者等と行政が12名集まり、訪問看護ステーションの現在の課題や、取り組み等を話し合いました。

今回は、訪問看護部門の介護報酬及び診療報酬の改定について勉強会を行いました。今年度は診療所、病院等の医療機関及び介護サービス事業所とさらに緊密な連携を行い、在宅医療を進めていくための取り組みを行う予定です。